

I. 通行料金案に関するご意見

ご意見		合計	ご意見に対する見解
(1) 通行料金案について	設備の老朽化対応等のために、料金値上げは理解。	27件	<ul style="list-style-type: none"> お支払いいただいた通行料金をもとに、今後、老朽化対策等必要な事業を進めてまいります。 また、令和8年6月以降の新たな通行料金について、円滑に実施できるよう準備を進めてまいります。
	もっと高価な価格にすべきだ。	2件	<ul style="list-style-type: none"> 料金徴収期間全体で必要な管理費(更新・機能向上を含む)を賄う料金案となっていますので、ご理解をお願いいたします。
	もっと廉価な価格にすべきだ。	6件	<ul style="list-style-type: none"> 料金徴収期間全体で必要な管理費(更新・機能向上を含む)を賄う料金案となっています。
	大幅な値上がりはやめるべきだ。	14件	<ul style="list-style-type: none"> 関門トンネルの老朽化の進展状況を踏まえると、物価高騰等による維持管理コストの上昇への対応の上、適切な予防保全や修繕を行うとともに、機能向上も実施し、将来20年間にわたり安全・安心な道路利用を確保するために必要な料金案としておりますので、ご理解をお願いいたします。
	利用目的に応じた料金設定にすべきだ。	2件	<ul style="list-style-type: none"> なお、急激な負担増を軽減するため、段階的に引き上げる案としております。
	値上げは反対。	8件	
	無料開放すべきだ。	9件	
	関門橋通行料金との適切な価格差を維持してほしい。	2件	
(2) 割引について	ETC導入後に料金を引き上げるべきだ。	1件	<ul style="list-style-type: none"> 料金徴収期間全体で必要な管理費(更新・機能向上を含む)を賄う料金案となっています。 ETC導入後に料金を引き上げた場合、料金変更時期から残る期間において必要な管理費を賄うために、現行の料金案に加え追加でご負担をお願いすることになりますので、ご理解をお願いいたします。
	下関市民や北九州市民への割引拡充をしてほしい。	4件	<ul style="list-style-type: none"> 料金徴収期間全体で必要な管理費(更新・機能向上を含む)を賄う料金案となっています。 割引の拡充を行うことで、必要な管理費を賄うことができなくなり、今後も関門トンネルを安全・安心にご利用いただくために必要な事業の着実な実施に影響が及ぶことになります。
	回数券割引等の拡充してほしい。	2件	
	運送事業者の負担軽減策を講じてほしい。	4件	<ul style="list-style-type: none"> 一方で、障害者割引については継続するほか、日常的なご利用で多く使用いただいている回数券割引についても、当面の間、継続をいたします。
(3) その他	100円単位にするなど切りの良い料金とすべきだ。	10件	<ul style="list-style-type: none"> 各車種間の料金の設定は、各車種間の引き上げ幅に対して公平性を考慮し、現行料金の車種間比率に基づいた算出をしています。 また、当社が管理する道路においては、関門トンネル以外の路線も含め、10円単位での設定とさせていただいております。 ETC導入までは、これまでと同様に現金等での支払いになり、車種によっては必要な硬貨の枚数が増える場合もありますが、回数券のご利用もご検討いただきますようお願いいたします。 また、ETC導入後においては、料金所をスムーズに通行することが可能となり、利用者の利便性が向上すると考えておりますので、早期導入に向けて検討してまいります。
	自動二輪料金は、軽自動車と分けるべきだ。	3件	<ul style="list-style-type: none"> 今後の料金体系を検討する際の参考とさせていただきます。
	全車種一律の通行料金にしてはどうか。	1件	

I. 通行料金案に関するご意見

ご意見		合計	ご意見に対する見解
(3)その他	関門橋が災害で通行止めのときは関門トンネルを無料開放すべきだ。	1件	・高速道路に並行する一般道が被災した場合、代替ルートとして高速道路を無料で利用できる措置を講じることができます。しかし、関門海峡は「関門トンネル」と「関門橋」の2つのルートで構成されており、いずれも有料道路であるため、この無料措置は基本的に適用されません。
	関門トンネルの通行料金の値上げする代わりに関門橋の通行料金の値下げをしてほしい。	1件	・関門トンネルの料金徴収期間全体で必要な管理費(更新・機能向上を含む)を賄うための関門トンネルの料金案であり、関門橋の通行料金とは独立した料金設定となっておりますので、ご理解をお願いいたします。
	新料金への改定に伴う回数券の取り扱いを早期に決めてほしい。	1件	・新料金に対応した回数券の取り扱いについては、早期に検討を行い、決まり次第改めてお知らせをいたします。
	ETC導入に合わせてETC料金を設定してはどうか。	1件	・現行回数券の割引と同程度の規模を念頭にETCを活用した割引を検討しておりますが、今回の料金改定に伴う利用動向の変化等や、システム等技術的な観点も踏まえて、引き続き検討してまいります。
	ETCの割引は関門トンネル、関門橋の両方で利用できる割引にしてほしい。	1件	
	ETC導入後は通勤割引を導入すべきだ。	1件	
	ETC利用促進に向けた割引をしてほしい。	1件	

II. ETC設備の導入に関するご意見

ご意見		合計	ご意見に対する見解
(1)ETC設備の導入について	ETCを導入すべき。	6件	・ETC設備について、早期に導入できるように準備を進めてまいります。 ・令和7年4月18日に公表された有識者により取りまとめられた提言「関門トンネルにおける今後の維持管理・修繕に関する検討委員会 中間とりまとめ」において、料金所部での渋滞緩和や利便性向上が必要とされました。この提言を踏まえ、お客様の利便性向上を図るため、ETC設備の導入を行います。 ・ETCを導入することで、現行の料金所では、一時停止し精算させていただいていましたが、その手間が不要となりスムーズな通過が可能となりますので、ご理解をお願いいたします。 ・なお、料金の設定については、料金徴収期間全体で必要な管理費(更新・機能向上を含む)を賄う料金設定となっています。
	ETCを早期に導入してほしい。	14件	
	ETCを導入するべきではない。	2件	
	ETC導入のための値上げであれば反対。	1件	
	ETCが必要か疑問。	1件	
(2)その他	ETC導入により料金所通過後の合流で接触事故のリスクが懸念される。	1件	・ETCの導入に向けて、料金所合流部の安全性も含めて、安心してご利用いただけるよう詳細設計の実施や警察等関係機関との協議を行ってまいります。
	ETC導入により通行車両のトンネル内への進入速度が上がり追突が懸念される。	1件	
	ETC導入によりトンネル内で渋滞するのではないか。	1件	・トンネル内においては、照明のLED化による視認性向上や、視線誘導標等の設置によるトンネル内の整流化など走行環境の改善を行い、渋滞緩和に努めてまいります。
	ETC故障時のバックアップ体制を確保してほしい。	1件	・ETC設備の故障等が発生した際には、迅速な対応が取れるよう適切な体制を構築してまいります。

III. その他のご意見

ご意見		合計	ご意見に対する見解
その他	料金変更の背景や内容の説明をもっと丁寧に行うべきだ。	14件	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した構造物の管理の状況や機能向上の必要性等を現地ツアーの開催や各種イベントへの参加などを通じて、引き続き、理解促進の取り組みを行ってまいります。 また、関門トンネルの事業計画等は、引き続き、弊社ホームページの会社案内(約款・法令・協定)や会社IR情報等で公開してまいります。
	老朽化対策は必要。	11件	<ul style="list-style-type: none"> 今後もライフサイクルマネジメントを意識した予防保全や更新を進めてまいります。
	門司側交差点での渋滞対策が必要。	5件	<ul style="list-style-type: none"> 門司側では朝夕の時間帯に渋滞が発生しておりますが、交差点付近での交通集中が原因として考えられるため、渋滞解消に向けて、一般道の道路管理者等と連携した対応を引き続き行ってまいります。
	トンネルをもう一本造って上下線に別けてほしい。	1件	<ul style="list-style-type: none"> いただきましたご意見については、関係機関にも共有させていただきます。
	料金所部の渋滞対策をするべきだ。	1件	<ul style="list-style-type: none"> ETC設備を導入することで、現行の料金所では、一時停止し精算させていただいているが、その手間が不要となりスムーズな通過が可能となります。
	会社でのコスト縮減を行うべきだ。	2件	<ul style="list-style-type: none"> 関門トンネルは海底トンネルという特殊な構造であり、換気や排水などのために、大規模な施設設備等を有しています。 これまでの管理では、可能な限り分解整備や部分補修を行いながら、機能の延命化等のコスト管理を徹底し、大規模改修時や消費税対応を除き、約50年近く現行の料金水準を維持してまいりました。 しかし、多くの構造物・施設設備で老朽化が進んでおり、次の20年間の管理では、適切な時期に更新や予防保全を行う必要があります。 今後これらの必要な事業を行うために、現行の料金水準から引き上げ、事業費を確保する必要があります。ご理解のほどよろしくお願ひいたします。